

[028]九州大学教育社会学研究集録表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7325622>

出版情報：九州大学教育社会学研究集録. 28, 2024-09-15. Seminar of Educational Sociology
Department of Education, Graduate School of Human-Environment Studies Kyushu University
バージョン：
権利関係：



『九州大学教育社会学研究集録』第28号の刊行にあたって

『九州大学教育社会学研究集録』は、九州大学教育社会学研究室の研究成果の公開を目的に、1999年から発行されてきました。九州大学教育社会学研究室は、1954年に設置され、1973年に、九州大学教育学部教育学系の講座の中で初めて実験講座化されています。教育社会学は、教育学系の中でも、教育調査・社会調査という実証的なアプローチを特色とする学問であり、講義科目においても教育調査法などの講義・演習科目において、学生の調査研究スキルの向上に一定の役割を果たしています。

講座の歴代の担当者をみると、1951年より教育学部に講師として赴任してきた矢野峻先生が、教育社会学講座の設置と同時に、初代の専任教員に配置され、1955年に助教授、1963年に教授、そして1979年に退官するまで約30年間にわたって講座の教育研究活動を担われてきました。この教育社会学講座設置時の1954年から1957年までは、文学部教授の喜多野清一先生が本講座の教授に併任されております。また、執行嵐先生が、1955年から1957年まで講師として所属されておられます。1965年には、講座卒業生の田中一生助教授が着任され、1979年に教授、そして1991年に退官しております。1982年には住田正樹助教授が着任、1991年に教授に昇任し、1996年から1998年まで学部長を務め、2005年に退官されております。1996年に吉本圭一先生が、助教授として着任、2008年に教授に昇進され、2009年から主幹教授の称号を受けられております。また、2010年から2016年まで、荒牧草平先生が准教授として在籍されました。吉本圭一先生は、2012年から2014年まで学部長をお務めになられ、2020年に退職されました。2015年からは、木村拓也が、准教授として、基幹教育院所属のまま大学院教育システム専攻の学府担当を併任、2016年に人間環境学研究院（教育学部）に異動しました。吉本圭一先生が2020年に退職後は、木村拓也が1人体制で、教育社会学分野の教育・研究を行っており、2022年1月に教授に昇進し、(独)大学入試センターでクロスアポイント教授としても勤務しております。

この度、研究室活動の一環として、『九州大学教育社会学研究集録』27号を刊行いたしました。28号では、論文2本、研究ノート2本、資料4本（翻訳2本を含む）の論稿を掲載することができました。2021年の22号より、年2回の発行を行っておりますので、奮っての投稿のほど、お待ち申し上げます。

今後とも、皆様方のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024（令和6）年9月15日

九州大学 教授 木村 拓也